

# 明治大学文学部 第5回読書感想文コンクール

あなたの感動を、率直平明な言葉でお書き下さい。

## ◇募集要項

応募資格 高校生および社会人

応募内容 課題図書から1冊を選び、1,200字以内で感想文を書いてください。  
応募は未発表の原稿で、1人につき1点にかぎります。

応募形式 応募用紙(表紙)は文学部ホームページよりダウンロードしてください。  
応募用紙には氏名(ふりがな)、年齢、住所、電話番号、高校生は、学校名と学年を明記してください。本文はA4サイズの400字詰原稿用紙3枚以内に「縦書き」で記入のうえ、郵送してください。応募作品は返却しません。ご記入いただいた個人情報は、本賞選考以外には許可無く使用いたしません。

優秀賞 100名(高校生部門、社会人部門合わせて)。  
賞状ならびに作品集の贈呈、副賞として図書カード3,000円分。選考結果は、受賞者に郵送し、ホームページに発表します。優秀者全員の感想文は、「作品集」として単行本になります。作品集は受賞者ならびに各高等学校や図書館に寄贈します。作品の著作権については明治大学に帰属することとします。

課題図書 (著者五十音順)

1. 阿久 悠作 『瀬戸内少年野球団』  
終戦直後の淡路島を舞台に、戦争の傷跡の残る日本の世相と、貧しい中でも力強く生きる子どもたちの姿を描く。
2. アンドレ・ジッド作 『田園交響楽』  
悲しい愛の物語。盲啞の少女が、牧師の献身的な指導によって言葉と視力を取り戻す。これがなぜ「悲しい」のか？
3. アントン・チェーホフ作 『かもめ』  
劇作家と女優志望の青年と娘の恋。元女優である青年の母と著名作家への愛や憎しみ。野心の行方を描く。
4. ウィリアム・ゴールディング作 『蠅の王』  
無人島で暮らす少年たちの生活が破綻して行くさまを描く本書は、現在の日本社会に対する鋭い警告でもある。
5. 小坂井 敏晶著 『人が人を裁くということ』  
裁判員制度や冤罪事件について、人が人を裁くことの原理的な意味に立ち戻って考え直すことをわれわれに促す。
6. 今野 真二著 『振仮名の歴史』  
日本語独自の表記方法である振仮名の歴史を学びつつ、振仮名の持つ豊かさと魅力を感じ取ろう。
7. ジョージ・オーウェル作 『動物農場』  
平等を求めて結束した動物たちが農場主の追放に成功。ところが彼らのあいだから新たな支配者が現われる。
8. 三島 由紀夫作 『潮騒』  
初々しい恋愛小説。ひとりの若者が大人へと成長していく過程が描かれている。
9. 目取真 俊著 『沖縄「戦後」ゼロ年』  
本書が説くように、沖縄の現代史に目を向けることなくして、日本とアジアの現代史を理解することはできない。
10. 森 鷗外作 『雁』  
若い男女の自由と束縛、淡い恋を軸に、物語は近代化を目ざす日本の前進と停滞を鮮やかに浮かび上がらせる。

締 切 2013年 7月31日(水) 必着

表 彰 式 2013年 11月16日(土) 予定  
於：明治大学駿河台キャンパス  
(受賞者にはご案内状を送付いたします。)

応募及び  
お問合せ 〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1  
明治大学文学部読書感想文コンクール選考委員会  
電話 03-3296-4181



受賞作品が1冊の本になります



詳しくは文学部ホームページをご覧ください。  
<http://www.meiji.ac.jp/bungaku/>